

# 温暖化防止ながれやま便り

NPO 温暖化防止ながれやま  
代表 石垣 幸子  
流山市江戸川台西 2-152  
編集 春田 育男

第39号 2021年3月

## 第4回環境講座

「Web版」をオンラインで開催しました。

令和2年度第4回環境講座（2月28日）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となってしまいました。そこで、当日開催予定の内容などをWeb版としてオンラインで開催しました。2月21日～3月12日で122名の方が来訪されました。

構成は第1部「らんま先生の環境エコパフォーマンスショー」、第2部「地球温暖化についてのWeb展示会」となっております。

### 第1部；

eco 実験パフォーマー らんま先生



- 1971年：横浜生まれ
- 2009年：環境カウンセラー
- 2013年：サイエンスアワード  
最優秀実験賞を受賞。
- 2015年：科学の鉄人で優勝。
- 2016年：初代実験王となる。
- 2018年：空気砲の実験でギネス世界記録を作る。



<https://www.youtube.com/watch?v=n3UF5S42Sdk>

### 第2部

地球温暖化についてのWeb展示会



私山の現状と計画？

※ パネル画像をクリックして詳細ページをご覧ください。



[https://www.youtube.com/watch?v=vyRLU\\_2c\\_k0](https://www.youtube.com/watch?v=vyRLU_2c_k0)



### 3月度「省エネルギー学習会」

#### 「紙とエネルギー」

令和3年3月5日（金）、生涯学習センターで「紙とエネルギー」のテーマで学習会が開催されました。講師は増永 弘氏（エネルギー管理士、OBN会員）でした。

現在、プラごみ汚染が地球規模で深刻化しています。その中で今、再生産可能な木材を原料とする「紙」が注目されています。一方、製紙産業はエネルギー多消費産業でありその対策は重要な課題とされています。



#### 必要エネルギーの種類と割合



### 製紙産業は、資源循環型産業

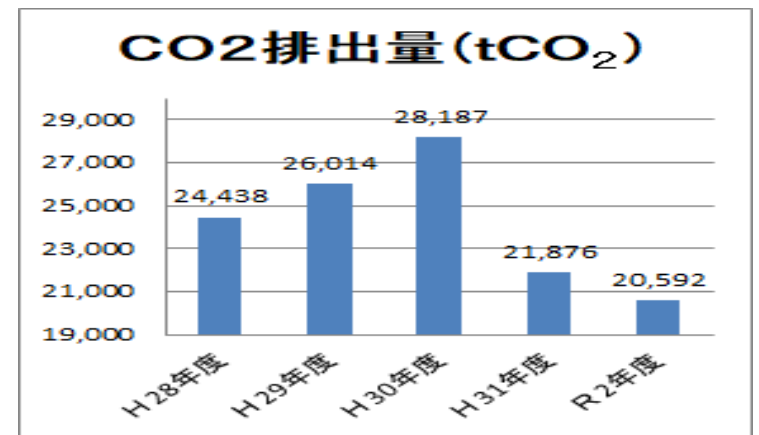
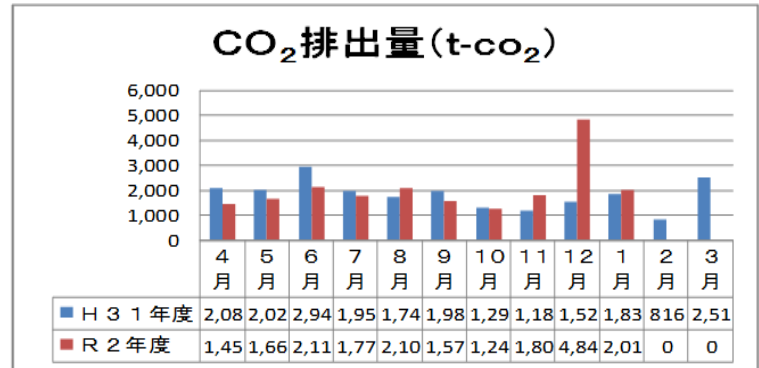
#### 森林・紙・エネルギーの有効活用



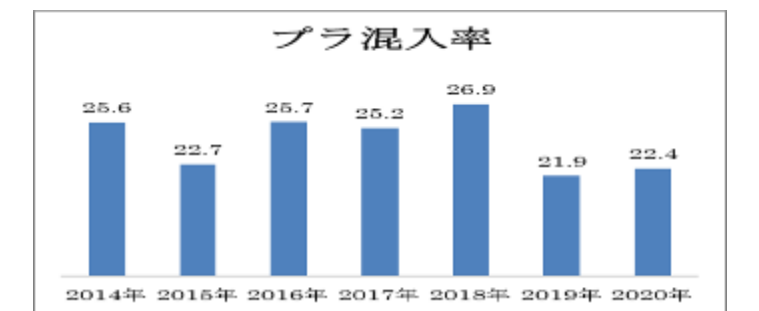
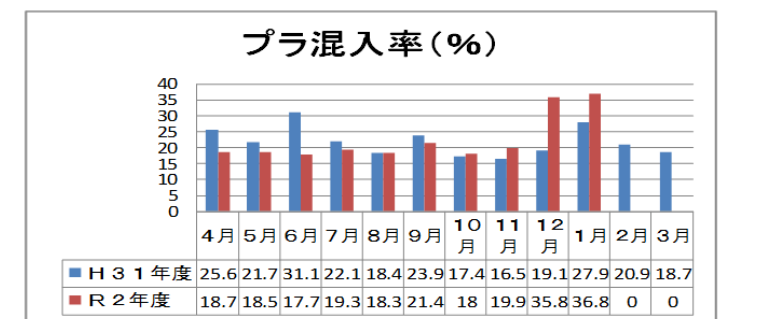
### 3月度「可燃ごみ減量PJ」

#### ごみ焼却に伴うCO<sub>2</sub>発生量について

ごみ焼却に伴うCO<sub>2</sub>発生量は、可燃ごみに含まれるプラスチック量で計算されています。



R 2 年度は 1 月現在です



2020 年度は 4 月～1 月の平均値です

## コロナ禍と温暖化 環境と経済の両立図れ

(中国新聞 2021/1/3 より抜粋)

見上げた空がきれいになったと感じている人も少なくないのではないかと。国立環境研究所は先月、CO<sub>2</sub>排出量が前年を7%下回る見通しを発表した。新型コロナウイルスの感染拡大で、経済活動が縮小したためだ。

しかし大気中のCO<sub>2</sub>濃度は依然として過去最悪の高い水準にある。CO<sub>2</sub>の排出量が少しばかり減ったからといって、温暖化に歯止めがかけられるわけではない。コロナ禍が収束すれば、リバウンドも懸念されている。

コロナ禍をどう克服していくかは喫緊の課題だが、それによって地球環境問題への取り組みが後回しにされることがあってはならない。「環境か、経済か」という単純な二項対立から発想を転換し、手遅れになる前に行動する必要がある。

注目したいのは、コロナ禍を変革実現の好機と捉え、環境に配慮しながら経済再生を目指す動きが広がっていることだ。「グリーン・リカバリー（緑の復興）」と呼ばれている。

コロナ禍で傷んだ経済を取り戻すだけでなく、脱炭素化など気候変動への取り組みと連動させて投資を拡大し、新たな雇用や市場の創出につなげていく。持続可能な脱炭素社会への転換と経済復興の両立を狙う考え方は新鮮で、説得力もある。

気候危機を回避するには、産業革命以降の気温上昇を1・5度以下に抑える必要がある。そのためには今世紀半ばまでにCO<sub>2</sub>の排出量を実質ゼロにすることが必須だ。

長期的な視点に立って、感染症の世界的大流行が起こりにくく、気候危機も回避できるよう、社会・経済システムの変革を探る必要がある。

## R3年度の予定

(コロナ禍で予定変更もあります)

### 市民環境講座(予定)

回数	日程	曜日	会場(予約済み)	内容
第1回	2021年7月17日	土	生涯学習センター多目的ホール	ソーラーカー組立工作
第2回	2021年8月8日	日	生涯学習センター多目的ホール	LEDランタン工作
第3回	2021年12月5日	日	文化会館ホール	映画上映会
第4回	2022年2月6日	日	文化会館ホール	らんま先生「エコパフォーマンスショー」



ソーラーカー



LEDランタン

### 編集後記

東京管区気象台は、3月14日、都心の桜の開花を発表した。統計開始以降、昨年に並ぶ最速の開花だという。この冬の寒さは例年になく厳しかった。しかし、冬の後半は暖かい日が多く、記録的な速さの開花となった。

今年は、カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量の実質ゼロ)を目指すスタートの年である。2050年までにCO<sub>2</sub>排出を実質ゼロにする自治体は210自治体というが、流山市は？

新電力会社の太陽光発電が増える中、この冬の低温と曇天時に電力不足が生じてしまった。この冬の厳寒を再エネ縮小にしてはいけない。

(石垣幸子)